

**【先進医療B】**  
**令和7年6月30日時点における先進医療に係る費用**  
 令和7年度実績報告（令和6年7月1日～令和7年6月30日）

先    5    1  
 （参考資料5-2）  
 7    1    2    4

整理 番号	告示 番号	技術名	適用年月日	総合計 (円)	先進医療総額 (円)	平均 入院期間 (日)	年 間 実施件数 (件)	実施 医療機関数 (機関数)
1	1	インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫(症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。)	平25.8.1	3,661,365	3,001,195	※	2	2
2	2	腹腔鏡下センチネルリンパ節生検 早期胃がん	平26.1.1	-	-	-	0	-
3	5	ハイパードライヒト乾燥羊膜を用いた外科的再建術 再発翼状片(増殖組織が角膜輪部を超えるものに限る。)	平28.1.1	-	-	-	0	-
4	7	ゲムシタピン静脈内投与、ナブパクリタキセル静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法 腹膜播種を伴う膵臓がん	平28.10.1	-	-	-	0	-
5	8	術後のカベシタピン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法 小腸がん(ステージがⅠ期、Ⅱ期又はⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	平29.4.1	297,155	178,900	※	1	1
6	9	S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	平29.4.1	22,587,233	6,158,735	7.6	24	9
7	10(1)	陽子線治療 根治切除が可能な肝細胞がん(初発のものであり、単独で発生したものであって、その長径が三センチメートルを超え、かつ、十二センチメートル未満のものに限る。)(陽子線治療を実施する施設)	平29.6.1	3,570,360	3,200,000	4.5	2	2
8	10(2)	陽子線治療 根治切除が可能な肝細胞がん(初発のものであり、単独で発生したものであって、その長径が三センチメートルを超え、かつ、十二センチメートル未満のものに限る。)(外科的治療を実施する施設)	平29.6.1	-	-	-	0	-
9	12	術後のアスピリン経口投与療法 下部直腸を除く大腸がん(ステージがⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	平30.2.1	14,973,270	231,778	0.1	190	27
10	14	腎悪性腫瘍手術により摘出された腎臓を用いた腎移植 末期腎不全(慢性維持透析が困難なものに限る。)	平31.2.1	579,365	371,425	※	7	2
11	15	反復経頭蓋磁気刺激療法 薬物療法に反応しない双極性障害の抑うつエピソード	平31.3.1	4,201,502	4,104,692	※	6	1
12	16	自己軟骨細胞シートによる軟骨再生治療 変形性膝関節症(軟骨欠損を伴うものであって、高位脛骨骨切り術の適応となるものに限る。)	平31.4.1	5,582,424	4,045,186	23.0	1	1
13	17	自家末梢血CD34陽性細胞移植による下肢血管再生療法 下肢閉塞性動脈硬化症(疼痛又は潰瘍を伴う重症虚血を呈するものであって、維持透析治療を行っているものに限る。)	令1.7.1	-	-	-	0	-
14	18	不可逆電気穿孔法 肝細胞がん(肝内における長径三センチメートル以下の腫瘍が三個以下又は長径五センチメートル以下の腫瘍が一個であって、肝切除術又はラジオ波焼灼療法による治療が困難であり、かつChild-Pugh分類による点数が九点以下のものに限る。)	令1.8.1	4,172,320	2,891,430	7.3	3	1
15	19	ブロープ型共焦点レーザー顕微内視鏡による胃上皮性病変の診断 胃上皮性病変	令1.11.1	238,894	159,894	※	2	1
16	20	ボツリヌス毒素の膀胱内局所注入療法 神経因性排尿筋過活動による膀胱機能障害(五歳以上十八歳未満の患者に係るものに限る。)	令2.1.1	-	-	-	0	-
17	21	イマチニブ経口投与及びベムプロリズマブ静脈内投与の併用療法 進行期悪性黒色腫(KIT遺伝子変異を有するものであって、従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。)	令2.2.1	18,080,171	15,427,431	2.3	9	5
18	24	周術期デュルバルマブ静脈内投与療法 肺尖部胸壁浸潤がん(化学放射線療法後のものであって、同側肺門リンパ節・縦隔リンパ節転移、同一肺葉内・同側の異なる肺葉内の肺内転移及び遠隔転移のないものに限る。)	令2.3.1	262,647,637	214,690,462	8.5	33	10

整理 番号	告示 番号	技術名	適用年月日	総合計 (円)	先進医療総額 (円)	平均 入院期間 (日)	年間 実施件数 (件)	実施 医療機関数 (機関数)
19	26	肺動脈自律神経叢除神経療法 肺高血圧症(薬物療法に抵抗性を有するものに限る。)	令2.6.1	-	-	-	0	-
20	27	遺伝子組換え活性型血液凝固第Ⅷ因子製剤静脈内投与療法 脳出血(発症から二時間以内のものに限る。)	令2.11.1	106,111,473	28,467,264	21.1	57	12
21	28	抗腫瘍自己リンパ球移入療法 子宮頸がん(切除が不能と判断されたもの又は術後に再発したものであって、プラチナ製剤に抵抗性を有するものに限る。)	令3.1.1	6,193,460	6,188,220	※	1	1
22	29	メトホルミン経口投与及びテモゾロミド経口投与の併用療法 膠芽腫(初発のものであって、テモゾロミド経口投与及び放射線治療の併用療法後のものに限る。)	令3.2.1	-	-	-	0	-
23	30	シクロホスファミド静脈内投与療法 成人T細胞白血病(末梢血幹細胞の非血縁者間移植が行われたものに限る。)	令3.3.1	21,361,042	92,002	53.0	2	2
24	31	腫瘍治療電場療法 膠芽腫(当該疾病が発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、 TENT上に位置するものに限る。)	令3.4.1	18,927,049	18,549,469	※	2	2
25	32	自家骨髄単核球移植による血管再生治療 全身性強皮症(難治性皮膚潰瘍を伴うものに限る。)	令3.7.1	-	-	-	0	-
26	33	シスプラチン静脈内投与及び強度変調陽子線治療の併用療法 頭頸部扁平上皮がん(喉頭がん、中咽頭がん又は下咽頭がん)であって、ステージがⅡ期(p16陽性中咽頭がんに限る。)、Ⅲ期又はⅣ期のものに限る。)	令3.9.1	30,449,960	20,618,000	43.1	7	3
27	34	テネクテプラーゼ静脈内投与療法 脳梗塞(発症から四・五時間以内のものに限る。)	令3.9.1	133,791,964	5,099,256	25.6	49	14
28	35	アスピリン経口投与療法 家族性大腸腺腫症	令3.12.1	39,893,448	137,280	1.6	196	21
29	36	自己骨髄由来培養間葉系細胞移植による完全自家血管新生療法 閉塞性動脈硬化症(血行再建術が困難なものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。)	令4.4.1	2,408,573	2,008,463	10.0	1	1
30	37	ラメルテオン経口投与療法 悪性腫瘍(六十五歳以上の患者に係るものに限る。)	令4.4.1	75,792,860	93,382	19.8	107	3
31	38	反復経頭蓋磁気刺激療法 うつ病(急性期において当該療法が実施された患者に係るものであって、薬物療法に抵抗性を有するものに限る。)	令4.5.1	43,024,833	21,558,995	6.4	127	19
32	39	セボフルラン吸入療法 急性呼吸窮迫症候群(従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。)	令4.5.1	5,979,390	96,350	46.0	1	1
33	40	自家臍島移植術 慢性膵炎(疼痛を伴うものであって、従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。 )又は膵動静脈奇形(従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。)	令4.7.1	2,458,298	265,368	28.0	1	1
34	42	ネシツムマブ静脈内投与療法 切除が不可能なEGFR遺伝子増幅陽性固形がん(食道がん、胃がん、小腸がん、尿路上皮がん又は乳がんに限る。)	令4.9.1	171,560	49,630	※	1	1
35	43	生体肝移植術 切除が不可能な肝門部胆管がん	令4.9.1	33,744,505	7,914,405	44.0	3	1
36	44	術前のゲムシタピン静脈内投与及びナブーパクリタキセル静脈内投与の併用療法 切除が可能な膵臓がん(七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。)	令4.10.1	59,142,001	24,932,037	5.1	53	23
37	45	自家濃縮骨髄液局所注入療法 特発性大腿骨頭壊死症(非圧潰病期に限る。)	令4.12.1	20,794,070	6,190,490	7.8	17	4
38	47	集束超音波治療器を用いた前立腺がん局所焼灼・凝固療法 前立腺がん(限局性のものに限る。)	令5.2.1	46,692,736	34,101,990	3.0	51	2

整理 番号	告示 番号	技術名	適用年月日	総合計 (円)	先進医療総額 (円)	平均 入院期間 (日)	年間 実施件数 (件)	実施 医療機関数 (機関数)
40	49	生体肝移植術 切除が不可能な転移性肝がん(大腸がんから転移したものであって、大腸切除後の患者に係るものに限る。)	令5.7.1	21,203,117	10,699,900	33.3	4	2
41	50	タミバロテン経口投与及びベムプロリズマブ静脈内投与の併用療法 切除が不可能な膵臓がん(二種類の従来の治療法に抵抗性を有するもの又は薬物療法が困難なものに限る。)	令6.4.1	8,923,381	6,067,922	3.8	6	1
42	51	経皮的前立腺がんマイクロ波焼灼・凝固療法 前立腺がん(限局性のものに限る。)	令6.5.1	26,373,438	18,125,000	3.2	33	7
43	52	アルゴンプラズマ高周波焼灼・凝固療法 切除が不可能な食道表在がん	令6.5.1	1,181,930	822,198	1.5	4	3
44	53	脂肪組織由来の多系統前駆細胞を用いた歯周組織再生療法 重度歯周炎(従来の歯周組織再生療法ではその治療に係る効果が認められないものに限る。)	令6.6.1	236,421	142,360	※	4	1
45	54	自家骨髄単核球移植による血管再生治療 包括的高度慢性下肢虚血(閉塞性動脈硬化症を伴うものに限る。)	令6.7.1	-	-	-	0	-
46	55	アナモレリン塩酸塩経口投与 体重減少(食道がんに対する食道亜全摘胃管再建術又は胃がんに対する噴門側胃切除術若しくは胃全摘術を実施したものに限る。)	令7.2.1	193,183,632	1,604,991	21.1	64	6
47	56	脊髄腫瘍手術 脊髄腫瘍(胎児期の患者に係るものに限る。)	令7.3.1	13,225,178	1,527,000	32.0	3	1
48	57	着床前胚異数性検査2 不妊症(卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものであって、これまで反復して着床若しくは妊娠に至っていない患者若しくは流産若しくは死産の既往歴を有する患者に係るもの又は患者若しくはその配偶者(届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。))が染色体構造異常を持つことが	令7.4.1	-	-	-	0	-
49	58	ギルテリチニブ経口投与療法 進行再発非小細胞肺癌(ロルラチニブ経口投与療法が不耐容であるもの又はロルラチニブ経口投与療法に抵抗性を有するものであって、ALK融合遺伝子陽性のものに限る。)	令7.5.1	-	-	-	0	-
合 計				1,251,856,015	469,813,100		1,074	194

※入院例なし